

# 「臨床外科」 第 39 巻 総目次

1984 年 (第 1 号～第 12 号)

数字は通巻頁, ( ) は号数を示す。

## 〔特 集〕

### 今日の肺癌

#### Editorial 肺癌研究の新たな展開

……………末舛 恵一… 18(1)

#### 診断の進歩—肺癌の CT 診断,

とくに術前検査として

松原 敏樹・中 川 健・木 下 巖… 21(1)

#### 気管支ファイバースコープの手

技とコツ……………雨宮 隆太・於保 健吉… 31(1)

#### 肺機能からみた肺切除の適応と

限界……………仲 田 祐・大久田和弘… 39(1)

#### 私の肺癌手術

—とくに縦隔郭清について—

廣野 達彦・小池 輝明・山 口 明

滝沢 恒世・江口 昭治…………… 43(1)

#### 私の肺癌手術—人工心肺を用い

た肺癌の手術

吉村 博邦・石 原 昭…………… 49(1)

#### 私の肺癌手術—手技とそのコツ—米山 武志… 55(1)

#### 高齢者肺癌の外科

大畑 正昭・飯 田 守・新野 晃敏

大森 一光・中 岡 康・瀬在 幸安

…………… 61(1)

### がんの集学的治療をどうするか

#### 食道癌

<基調論文>……………磯野 可一… 161(2)

<コメント>……………掛川 暉夫… 167(2)

<コメント>……………飯塚 紀文… 170(2)

#### 肝臓癌

<基調論文>

山 崎 晋・長谷川 博・幕内 雅敏… 173(2)

<コメント>……………菅原 克彦… 179(2)

<コメント>……………岡本 英三… 182(2)

#### 乳 癌

<基調論文>

榎本 耕治・池 田 正・阿部 令彦… 185(2)

<コメント>……………野村 雍夫… 193(2)

<コメント>……………富 永 健… 196(2)

#### 悪性軟部腫瘍

<基調論文>

梅 田 透・高田 典彦・保高 英二

遠藤富士乗・石 井 猛…………… 199(2)

<コメント>……………田中 清介… 208(2)

<コメント>……………大野 藤吾… 211(2)

#### 悪性リンパ腫

<基調論文>……………小堀鷗一郎… 215(2)

<コメント>……………服部 孝雄… 221(2)

<コメント>……………西 満 正・吉中 平次… 223(2)

#### 外科感染症と免疫

##### 宿主の感染防御機構

螺良 英郎・中 川 勝…………… 305(3)

##### Compromised host における感

###### 染対策

品川 長夫・中村 明茂・高岡 哲郎

由良 二郎…………… 313(3)

##### 悪性腫瘍患者の免疫不全と感染

酒井 克治・森 本 健…………… 319(3)

##### 外傷・熱傷患者の免疫不全と感

###### 染

相川 直樹・石引 久彌・阿部 令彦

奥 田 誠…………… 325(3)

##### 肝切除後の免疫不全と感染

—とくに細網内皮系の変化とその対策—

平澤 博之・大竹 喜雄・小 林 進

田畑陽一郎・小林 弘忠・大川 昌権

添田 耕司・織田 成人・室谷 典義

竜 崇 正・小高 通夫・佐 藤 博… 331(3)

##### Splenectomy における免疫不全

と感染……………前川 和彦… 337(3)

##### 腎移植後の免疫抑制と感染症

岡 隆 宏・中根 佳宏…………… 343(3)

#### 臓器移植の最前線

臓器移植と組織適合性……………渡部 浩二… 445(4)

術前輸血と Cyclosporin A……………雨 宮 浩… 457(4)

##### 腎臓移植の現況と展望

中根 佳宏・岡 隆 宏…………… 467(4)

肝臓移植の現況と展望……………岩月舜三郎 475(4)

(1)

脾臓移植の現況と展望

出月 康夫・窪田 倭…………… 485(4)

心移植の現況と展望……………近藤 芳夫… 495(4)

骨髄移植の現況と展望—特に進

行固形癌に対する大量化学

療法の支持療法として—

隅田 幸男・森重 福美・桂 義 元… 503(4)

腸移植の現況と展望……………岡田 正… 517(4)

外科におけるクリティカル・ケア

IABP による心臓性ショックの

治療……………鰐渕 康彦… 593(5)

ARDS の新しい呼吸管理……………石田 詔治… 599(5)

MOF 患者の感染対策

相川 直樹・石引 久彌・阿部 令彦… 605(5)

DIC の薬物療法

玉熊 正悦・平出 星夫・柿原 稔… 613(5)

Critical care における栄養管理

小林 国男・長谷部正清…………… 619(5)

血液浄化法

寺岡 慧・鈴木 利昭・本田 宏

渕之上昌平・阿岸 鉄三・太田 和夫

佐藤 博司・佐中 孜…………… 627(5)

術中トラブル対処法—私はこうしている—

〔巻頭言〕手術場での心得……………陣内傳之助… 740(6)

〔甲状腺・上皮小体手術〕……………三村 孝

開創したが上皮小体がみつから

ない…………… 743(6)

誤って反回神経を把んでしまつ

た…………… 744(6)

総頸動脈からの出血が止まらな

い…………… 745(6)

上甲状腺動脈がひつこんでひつ

ばれない…………… 746(6)

内頸動脈から出血が止まらない…………… 747(6)

甲状腺腫が鎖骨下に入り込んで

いる…………… 748(6)

〔食道手術〕……………鶴丸 昌彦・秋山 洋

心嚢を損傷した…………… 749(6)

皮下気腫が著しい…………… 750(6)

肺を損傷した…………… 751(6)

乳糜胸を作ってしまった…………… 752(6)

食道固有動脈根部より出血した…………… 754(6)

気管膜様部を損傷した…………… 755(6)

〔胃・十二指腸手術〕……………前田 昭二・湯浅 鏖介

十二指腸潰瘍切除で断端閉鎖が

できない…………… 757(6)

脾臓を損傷した…………… 758(6)

十二指腸潰瘍切除でぬいしろが

なく B-I か B-II に迷った…………… 759(6)

総胆管を損傷した…………… 760(6)

固有肝動脈を誤って切つてしま

つた…………… 762(6)

郭清ができるとおもいプルゼク

トミーを始めたら腹腔動脈幹

が腫瘍でうまり、処置が

困難…………… 763(6)

開腹したら S3 の脾臓で門脈浸

潤があつた…………… 764(6)

亜全摘で支配血管を切り胃がチ

アノーゼを起こした…………… 765(6)

胃全摘で食道がひつこんでしま

つた、食道が縦に裂けてしまった…………… 766(6)

〔迷走神経切離術〕……………大久保高明

迷切により食道穿孔を起こした…………… 769(6)

迷切術中の出血をどうするか…………… 771(6)

(付)不完全迷切を避けるために…………… 773(6)

〔小腸・大腸手術〕……………牧野 永城

アンギオ上、小腸の出血が確認

された、開腹時出血点を如

何に見つけるか…………… 777(6)

直立動脈の拍動がわかりにくい、

吻合部をどこに選ぶか…………… 778(6)

口径が合わない腸管同士の吻合

は…………… 779(6)

マイルズ手術で尿管(道)を損

傷した…………… 780(6)

マイルズ手術の際、仙骨の先端

に静脈叢があり、出血が止

まらない…………… 782(6)

マイルズ手術で前立腺を傷つけ

た…………… 783(6)

癌とイレウスが合併していた…………… 784(6)

広範囲に漿膜剝離があつたとき

の処置…………… 786(6)

腸壁のヘマトームをどうするか…………… 787(6)

〔肝臓手術〕……………山崎 晋

肝動脈を結紮してしまつた…………… 789(6)

肝静脈からの出血…………… 791(6)

門脈を誤って切断した…………… 793(6)

胆摘時胆嚢粘膜が肝臓壁に付着

して取れない…………… 794(6)

門脈結紮糸がはずれた…………… 795(6)

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 右の副腎静脈を損傷した……………         | 797(6) |
| Short hepatic vein をひっこ抜 |        |
| いた……………                  | 799(6) |
| 肝門で肝内胆管と空腸が吻合で           |        |
| きない……………                 | 800(6) |
| 〔胆・膵手術〕                  |        |
| 松代 隆・長嶋 英幸・山本 協二         |        |
| 今岡 洋一                    |        |
| 胆道造影で石があるがとれない……………      | 803(6) |
| 総胆管を損傷した……………            | 804(6) |
| 総胆管の損傷で長さ不足で端々           |        |
| 吻合ができたい……………             | 806(6) |
| SMA, SMV を誤って損傷した……………   | 808(6) |
| 胆嚢動脈を切つて断端が奥には           |        |
| いつてしまった……………             | 809(6) |
| 下大静脈を損傷した……………           | 810(6) |
| ダイレーターで膵内胆管を損傷           |        |
| した……………                  | 811(6) |
| 膵内胆管の末端にゾンデで石様           |        |
| ものをふれる．確認の方              |        |
| 法は……………                  | 812(6) |
| ミリッジで右肝管を傷つけた……………       | 813(6) |
| 炎症が強くて胆嚢管の処理が困           |        |
| 難……………                   | 814(6) |
| 再々手術で癒着が強く胆管へ到           |        |
| 達できない……………               | 816(6) |
| 〔乳房手術〕……………              | 牧野 永城  |
| 鎖骨下静脈を損傷した……………          | 819(6) |
| 鎖骨上で神経叢を切断した……………        | 820(6) |
| 〔その他の手術〕……………            | 牧野 永城  |
| 虫垂炎の疑いで開腹した虫垂が           |        |
| みつからない……………              | 821(6) |
| 虫垂の炎症が盲腸に及んでいる……………      | 822(6) |
| 虫垂がとれない……………             | 823(6) |
| 小児のヘルニア手術で精管を切           |        |
| 断した……………                 | 824(6) |
| ヘルニア嚢が腹膜の方まで裂け           |        |
| てしまった……………               | 825(6) |
| 痔瘻で2次開口部が3箇所ある           |        |
| とき……………                  | 826(6) |
| 痔瘻の手術で瘻孔処置を誤つて           |        |
| 直腸粘膜を広範に損傷した……………        | 828(6) |
| 腰椎麻酔が途中でできた……………         | 829(6) |
| 全周性の高度の脱肛を伴う，内           |        |
| 及び外痔核で，通常の結紮             |        |
| 切除で処理できそうにもな             |        |

|                        |        |
|------------------------|--------|
| い……………                 | 830(6) |
| 痔瘻と痔核が合併していた……………      | 831(6) |
| 〔肺・縦隔手術〕……………          | 長田 博昭  |
| 肺動脈を処理中，これを損傷し         |        |
| て大量出血をみた……………          | 845(6) |
| 肺静脈の結紮がはずれてしまつ         |        |
| た……………                 | 847(6) |
| 誤つて左房を損傷してしまった……………    | 848(6) |
| 転移リンパ節により肺静脈の切         |        |
| 離が極めて困難……………           | 850(6) |
| 肺区域切除を始めたが途中で切         |        |
| 除線に迷つた……………            | 852(6) |
| 上葉切除・肺切除の際，気管支         |        |
| 断端部で気管支狭窄を作つ           |        |
| てしまった……………             | 853(6) |
| 上葉切除の際，下肺靱帯を切除         |        |
| すべきかどうか……………           | 855(6) |
| 肺が脆く，縫合糸を掛ければ掛         |        |
| けるほど損傷が増えて気漏           |        |
| がコントロールできない……………       | 856(6) |
| 縦隔腫瘍が横隔神経を巻きこん         |        |
| でいる……………               | 858(6) |
| 〔心臓手術〕……………            | 新井 達太  |
| 動脈管開存症 PDA 剥離の際，       |        |
| 肋間動脈を損傷した……………         | 859(6) |
| PDA 切離に十分な距離が得ら        |        |
| れない……………               | 860(6) |
| PDA 切離の際，大動脈側ある        |        |
| いは肺動脈側の Potts 鉗子       |        |
| がずれて出血した……………          | 861(6) |
| 上大静脈 SVC，下大静脈 IVC      |        |
| への a) カニキュレーション，       |        |
| b) テーピングの際，大静          |        |
| 脈を損傷した……………            | 863(6) |
| 大腿動脈よりの逆行性送血によ         |        |
| り大動脈解離が起こつた……………       | 865(6) |
| Blalock-Taussing 吻合術で， |        |
| a) 鎖骨下動脈を結紮切断          |        |
| 後，その末梢側の結紮がゆ           |        |
| るくて切新端が筋肉内にも           |        |
| ぐつてしまった．               |        |
| b) 吻合しようとした鎖骨          |        |
| 下動脈の鉗子がはずれてし           |        |
| まつた．……………              | 866(6) |
| 開心後，心室中隔欠損症 VSD        |        |
| がなかなか見つからない……………       | 867(6) |

|                                                                           |        |                                                                       |             |
|---------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------|-------------|
| 再手術例の胸骨正中切開の際、<br>ストライカーにて心臓を損<br>傷し出血した……………                             | 868(6) | 腔内に漏出……………                                                            | 899(6)      |
| 〔胸腹部重度外傷〕・葛西 猛・小林 国男<br>食道破裂、特に発症より24時間<br>以上経過している時どう対<br>処するか……………      | 869(6) | 胆道ドレナージチューブが逸脱<br>した……………                                             | 900(6)      |
| 外傷性気管支破裂の呼吸管理お<br>よび術式をどうするか……………                                         | 870(6) | 経皮腎瘻術でカテーテルが腎静<br>脈に入ってしまった……………                                      | 902(6)      |
| 十二指腸の下行脚から上行脚に<br>かけての破裂に遭遇した……………                                        | 871(6) | 経皮腎瘻術で腎盂や尿管に穿孔<br>を起こした……………                                          | 904(6)      |
| 肝損傷に対し単純縫合止血で出<br>血がコントロールできない……………                                       | 873(6) | <b>肝臓癌の療法 TAE</b>                                                     |             |
| 術中、臍頭部損傷に遭遇した……………                                                        | 875(6) | 今日の TAE (Transcatheter<br>arterial embolization) 療法                   |             |
| 外傷性臍損傷に遭遇した……………                                                          | 877(6) | 山田 龍作……………                                                            | 939(7)      |
| 左側半結腸の外傷性破裂に遭遇<br>した……………                                                 | 878(6) | TAE 療法とその応用—私はこ<br>うしている—……………                                        | 武越 裕 943(7) |
| 〔血管造影〕……………平松 京一<br>血管のスパズムで、カテーテル<br>が動かなくなった……………                       | 882(6) | 〃 池田 健次・熊田 博光<br>吉 場 朗・奥本 正博・沢田 寿仁<br>池永 達雄・中沢 茂樹・鶴丸 昌彦<br>秋 山 洋…………… | 949(7)      |
| カテーテルの中で凝血し、血液<br>が手元の注射筒へ戻つてこ<br>ない……………                                 | 883(6) | 〃 山 崎 晋・長谷川 博<br>幕内 雅敏……………                                           | 955(7)      |
| カテーテルが血管内で結び目を<br>作つてしまった……………                                            | 884(6) | 〃 中塚 春樹・高島 澄夫……………                                                    | 961(7)      |
| 造影剤注入時、カテーテルが破<br>裂したり、尾部の広がりか<br>アダプタの孔から抜けてし<br>まった……………                | 884(6) | 化学・塞栓療法 (chemo-embo-<br>lization) の方法、適応、<br>効果                       |             |
| 血管内膜を損傷してしまった……………                                                        | 885(6) | —われわれの軌跡をふり<br>かえつて—                                                  |             |
| 血管外へカテーテルがでてしま<br>った……………                                                 | 886(6) | 岡 村 純・門田 守人・黒田 知純<br>吉岡 寛康・桜井 幹巳・若狭 研一……………                           | 967(7)      |
| 〔血管塞栓術、拡張術〕<br>……………青木 克彦・水野 富一<br>カテーテルからコイルがぬけな<br>い……………               | 889(6) | 肝切除に併用する術中 Embo-<br>lization の実際                                      |             |
| コイルが大動脈へ脱落しかけた……………                                                       | 893(6) | 弘 中 武・堀 勝文・園山 輝久<br>鴻 巣 寛・野中 雅彦・岡 隆 宏<br>山谷 和則……………                   | 973(7)      |
| 動静脈瘻で塞栓物質が静脈側へ<br>すり抜ける危険がある……………                                         | 895(6) | 病理からみた TAE の効果                                                        |             |
| 動脈狭窄部を通すガイドワイヤ<br>—が血管外に出た……………                                           | 896(6) | 神代 正道・中島 敏郎……………                                                      | 979(7)      |
| 〔穿刺術〕……………青木 克彦・水野 富一<br>経皮経肝胆道ドレナージで、カ<br>テーテルから動脈性あるいは<br>静脈性出血がある…………… | 897(6) | 成績からみた TAE 療法の検討<br>—現状における問題点につ<br>いて—                               |             |
| 造影剤がカテーテル周囲から腹                                                            |        | 木村 道雄・小林 敏生・大藤 正雄……………                                                | 987(7)      |

|                      |                   |          |
|----------------------|-------------------|----------|
| 骨盤外傷                 | 田伏 久之             | 1125(8)  |
| どこまで活用できるか新しい手術器械    |                   |          |
| 超音波外科吸引装置            |                   |          |
| —食道癌手術—              | 磯野 可一             | 1227(9)  |
| 超音波外科吸引装置            |                   |          |
| —肝臓外科手術—             |                   |          |
| 吉田 奎介・武藤 輝一・川口 英弘    |                   | 1235(9)  |
| レーザーメス—一般外科・消化       |                   |          |
| 器外科への応用—             | 佐野 文男・今野 哲朗・西田 修  |          |
| 奏 温 信・葛西 洋一          |                   | 1243(9)  |
| 電気メス                 | 大山 満・酒井 順哉        | 1251(9)  |
| 凍結手術器械               | 蔵本新太郎・若林己代治       | 1259(9)  |
| Microwave Surgery    |                   |          |
| 田伏 克惇・勝見 正治・田伏 洋治    |                   |          |
| 小林 康人・永井 祐吾・江川 博     |                   |          |
| 野口 博士・森 一成・山上 裕機     |                   |          |
| 青山 修・東 芳典            |                   | 1265(9)  |
| 胆管癌の外科               |                   |          |
| Editorial: 胆管をめぐる諸問題 |                   |          |
| 土屋 涼一・角田 司           |                   | 1374(10) |
| 胆管癌の早期診断法, 切除可能      |                   |          |
| 性の判定をどうするか           | 竜 崇正              | 1377(10) |
| 切除成績の現況と問題点          |                   |          |
| —上部胆管癌; 肝門部胆管        |                   |          |
| 癌—                   |                   |          |
| 水本 龍二・小倉 嘉文・赤坂 義和    |                   | 1383(10) |
| —中・下部胆管癌—            |                   |          |
| 中山 和道・福田 義人          |                   | 1389(10) |
| 切除率を向上させるにはどうす       |                   |          |
| るか                   |                   |          |
| —上部胆管癌における血          |                   |          |
| 管切除, 再建術—            | 都築 俊治・尾形 佳郎・飯田 修平 |          |
| 折井 正博                |                   | 1393(10) |
| —中・下部胆管癌に対する         |                   |          |
| 拡大膵頭十二指腸切除術—         | 宮崎 逸夫・小西 一郎・永川 宅和 | 1399(10) |
| 補助療法—特に進行肝門部胆管       |                   |          |
| 癌に対する切除と術中照射         |                   |          |
| 合併療法の評価—             | 岩崎 洋治・岡村 隆夫・轟 健   |          |
| 大原 潔                 |                   | 1403(10) |
| 切除不能胆管癌に対する治療の       |                   |          |
| 現況と問題点               |                   |          |
| 小山 研二・面川 進・後藤 浩志     |                   |          |

|                      |                  |          |
|----------------------|------------------|----------|
| 佐藤 寿雄                |                  | 1409(10) |
| 胃癌—最近の話題             |                  |          |
| 胃癌の壁内進展範囲と深達度の       |                  |          |
| 画像診断                 |                  |          |
| 井田 和徳・奥田 順一・森田 豊     |                  |          |
| 松井 亮好                |                  | 1511(11) |
| 胃癌の胃外進展の画像診断         |                  |          |
| 木村 健・山中 恒夫・寺田 友彦     |                  | 1515(11) |
| 胃癌リンパ節転移のエコー診断       |                  |          |
| 万代 恭嗣・伊藤 徹・高見 実      |                  |          |
| 大西 清・田中 洋一・出月 康夫     |                  |          |
| 幕内 雅敏                |                  | 1521(11) |
| 噴門部癌における下部胸腔, 縦      |                  |          |
| 隔内リンパ節郭清             | 栗根 康行            | 1525(11) |
| 脾門, 脾動脈幹リンパ節郭清       |                  |          |
| —脾温存, 脾摘術式—          |                  |          |
| 丸山 圭一・北岡 久三・平田 克治    |                  |          |
| 岡林 謙蔵・菊地 史郎          |                  | 1529(11) |
| 脾門, 脾動脈幹リンパ節郭清       |                  |          |
| —脾体尾部脾合併切除術式         |                  |          |
| の意義—                 | 宮下 薫・武藤 輝一・佐々木公一 |          |
| 田中 正雅・梨本 篤・吉川 時公     |                  | 1535(11) |
| 胃癌手術における脾摘の是非        |                  |          |
| 吉野 肇一・熊井浩一郎・浅沼 史樹    |                  |          |
| 石引 久彌                |                  | 1539(11) |
| 制癌剤の targeting による胃癌 |                  |          |
| 化学療法—特に活性炭吸着         |                  |          |
| 制癌剤によるリンパ節転移         |                  |          |
| と腹膜播種性転移の化学療         |                  |          |
| 法—                   | 高橋 俊雄            | 1543(11) |
| 免疫化学療法の治療成績          | 服部 孝雄            | 1547(11) |
| 胃スキルスの内分泌化学療法        | 北岡 久三            | 1551(11) |
| 胃癌の経内視鏡的レーザー治療       |                  |          |
| 鈴木 博昭・渡辺 豊・神山 正之     |                  |          |
| 長尾 房大                |                  | 1555(11) |
| 根治手術後の再発例からみた手       |                  |          |
| 術方針の再検討              |                  |          |
| 岩永 剛・古河 洋・市川 長       |                  | 1561(11) |
| 再発胃癌の治療              | 古賀 成昌・前田 勉郎      | 1567(11) |
| 残胃癌の病態と治療            |                  |          |
| 島津 久明・小堀嶋一郎・森岡 恭彦    |                  | 1571(11) |
| 大腸切除と機能温存            |                  |          |
| <巻頭言>大腸切除と機能温存       |                  |          |
| 土屋 周二                |                  | 1664(12) |
| 直腸癌の活約筋温存術式          |                  |          |

—低位前方切除術—手縫い吻

合と器械吻合

浜野 恭一・亀岡 信悟・秋 本 伸

由里 樹生・五十嵐達紀・野口 友義

三神 俊史・高 石 潔・相原 玲子…1667(12)

—重積法—…安富 正幸・松田 泰次…1675(12)

—貫通切除法—機能障害の実

態とその予防法—

高 橋 孝・小鍛治明照・太田 博俊

藤 原 章・翁 秀 岳……………1683(12)

—経肛門的結腸肛門吻合—

寺本 龍生・小 平 進……………1691(12)

回腸肛門吻合術の外科

宇都宮譲二・松本 正道・太田 正資…1699(12)

ループ式回腸・直腸(肛門)吻合術

亀山 仁一・星 川 匡・豊 野 充

塚 本 長……………1711(12)

回腸肛門造設術式とくに Kock's

ileostomy—…小 山 真・畠山 勝義…1719(12)

## 〔臨床研究〕

右側外傷性横隔膜ヘルニアの診

断と治療

—自験例3例の分析と文献

的考察—

田島 知郎・久保田光博・猪口 貞樹

杉田 輝地・三富 利夫・山近 勝美… 85(1)

腺腫様甲状腺腫 322 例の臨床的

検討

宝 道 勝・野口 志郎・村上 信夫

木 村 茂・中山 巖…………… 93(1)

残胃癌 4 例と最近10年間本邦報

告例の統計的考察

安 名 主・荻原 勉彦・山浦 芳徳

刈部 徳郎・小池 秀夫・野 口 徹

安 里 進・草野 充郎…………… 99(1)

腹部大動脈瘤の外科治療

森下 靖夫・丸古 臣苗・有川 和宏

山下 正文・湯田 敏行・豊 平 均

平 明…………… 105(1)

乳腺疾患の診断

—視触診, 乳房撮影, 超音波

像と組織診断—

山本 泰久・岩藤 真治・酒井 邦彦

石原 清宏・庄 達 夫・田口 忠宏

浦上 育典…………… 255(2)

巨大気腫性肺嚢胞の経時的変化

—縮小例および非増大例の

検討—

原田 邦彦・島田 良昭・佐尾山信夫

南本 智史・畠山 茂毅・井上 権治… 377(3)

門脈バイパス用カテーテル(ア

ンスロン®)の作製と臨床

治験成績

中尾 昭公・野浪 敏明・原田 明生

加納 忠行・末永 昌宏・堀沢 増雅

近藤 達平・川瀬 静雄・長岡 昭二

森 有 一…………… 383(3)

肝細胞癌切除例における非癌部

肝組織所見の臨床的意義

久保 琢自・広瀬 敏樹・渡 辺 寛

坂本 昌義・大谷 五良…………… 391(3)

胃癌リンパ節転移と CT 像

堀 雅 晴・渡 辺 進・松原 敏樹

梶 谷 鏝…………… 543(4)

微小循環からみた上腸間膜静脈

—大腿静脈バイパス法の安

全性の検討

安藤 久実・宮川 秀一・弥政洋太郎… 673(5)

腹部大動脈瘤の外科治療

岡本 好史・栗津 篤司・中山 健吾

山田 公弥・児玉 啓介・大仏 正隆

渡 辺 裕…………… 681(5)

結腸癌の手術法と術後成績

國井 康男・齊藤 俊博・新 田 篤

森 芳 正・正宗 良知・菅野 久義…1017(7)

二次性上皮小体機能亢進症にお

けるアルカリフォスファタ

ーゼの臨床的意義

船木 治雄・大田 早苗・広瀬 脩二

磯 本 徹・小出 桂三・遠山 純子…1023(7)

甲状腺分化癌に対する両側頸部

リンパ節郭清の適応

野口 昌邦・田中 茂弘・桐山 正人

藤井 久丈・秋山 高儀・滝 川 豊

松 葉 明・木 下 元・宮崎 逸夫…1151(8)

無症状胆嚢結石の臨床的特徴

—特にその手術適応につい

て—

杉 山 譲・佐々木陸男・鈴木英登士

華表 克次・小沢 正則・遠藤 正章

今 充・小野 慶一……………1157(8)

小腸悪性腫瘍—自験34例の検討—

蜂須賀喜多男・山口 晃弘・堀 洋明  
近 藤 哲・広瀬 省吾・深田 伸二  
宮地 正彦・碓氷 章彦・渡辺 英世  
石橋 宏之・加藤 純爾・神 田 裕  
中 野 哲・綿 引 元・武 田 功…1285(6)

大腸癌における術前血漿 CEA

測定の意義  
—臨床及び病理学的所見と  
の関連について—  
遠 藤 健・豊 島 宏…1293(9)

Pm 胃癌の予後

—sm 浸潤からみた術式、  
術後療法選択の可能性も含  
めて—  
内藤 寿則・友 清 明・江里口直文  
西田 博之・徳安 敏行・沢 田 勉  
瀧上 量三・福田 義人・桑原 義明  
三好 敦生・久原 敏夫・中山 陽城  
吉田 晃治・磯 村 正・銀先清一郎…1443(10)

動脈瘤の外科治療（脳動脈を除

く）  
—とくに発生部位別による  
治療成績—  
西 沢 直・鈴木 一郎・白松 一安  
田宮 達男…1451(10)

巨大肺嚢胞に合併した原発性肺

癌の検討  
西 亀 正之・奥道 恒夫・江崎 治夫…1585(11)

連関測定  $\gamma$  を指標とした胃癌

のリンパ節転移パターンと  
郭清法の検討  
中島 聡総・高橋 知之・吉田 行一  
太田 博俊・大橋 一郎・高木 国夫  
久野敬二郎・梶 谷 鑑…1589(11)

機械的小腸イレウスに対する腹

腔鏡の意義  
中川 隆雄・中島 清隆・久米川和子  
小野田万丈・鈴 木 忠・倉 光 秀磨  
織畑 秀夫…1599(11)

超音波による胸骨傍リンパ節転

移の描出  
霞 富士雄・渡 辺 進・深見 敦夫  
梶 谷 鑑・佐々間 浩・藤井 祐次  
長崎 厚子・菊田 和子・坂井美栄子…1757(12)

〔臨床報告〕

胃の平滑筋芽細胞腫の2例

福山 時彦・中原 昌作・池田 真一  
売豆紀雅昭・佐藤 和洋・増田 弘志  
井 上 強・横田 忠明…109(1)

急性胃軸捻転症の1例

田中 迪夫・中山 茂樹・枅岡 勇雄  
倉 重 徹…113(1)

脾原発悪性リンパ腫の1例

福井 雄一・竹 谷 弘・太田 三徳  
タンチタン・小川 法次・青野 豊一  
山崎 芳郎・清家 洋二・小 林 晏…117(1)

長期間 valvular pneumoperito-  
neum を繰り返した胃潰瘍

穿孔の1例  
佐藤 干城・江尻 友三・藤井 功衛  
舟田 公治・戸沢 敬夫…123(1)

緊急血管撮影により術前診断を

得た Meckel 憩室出血の  
1例  
河 準 奎・高 橋 滋・八幡 一史  
石 井 孝・蒲地 正浩・渡辺 信介…127(1)

乳腺 Paget 病4例の検討

梶原 哲郎・芳賀 駿介・芳賀 陽子  
飯田 富雄・松本 紀夫・熊沢 健一  
川田 裕一・中田 一也・榊 原 宣  
矢川 裕一…131(1)

回腸に非特異性病変を認めた虚

血性大腸炎と思われる1例  
田村 利和・川人 幹也・川原 弘行  
和田 大助・山本 雅資・国友 一史  
古味 信彦…135(1)

胃軸捻転症を合併した成人右

Bochdalek 孔ヘルニアの1  
治験例  
越智 祥隆・本郷 三郎・渡辺 高昌  
米 澤 望・松 尾 宏・村尾 佳則  
上田 豊晴・増井 義弘…139(1)

頸部迷走神経に発生した神経鞘

腫の1例  
三木 仁司・斉藤 圭治・小 柴 康  
高谷 信行・六田 暉朗・山下 恭治  
露 口 勝・原田 邦彦…261(2)

食道に原発した leiomyoblasto-  
ma の1例

膳所 憲二・川崎 雄三・末 永 博  
 田 辺 元・吉中 平次・福元 俊孝  
 松野 正宏・丸田 憲三・吉井 紘興  
 加治佐 隆・西 満 正・田中 貞夫… 265(2)

特異な組織像を呈した巨大な胃  
 の過形成ポリープの1例  
 太田 哲生・滝田 佳夫・米 村 豊  
 宮崎 逸夫・吉光 外宏・河 原 栄  
 勝田 省吾… 269(2)

腹部大動脈瘤および大腿動脈瘤  
 を合併した vasculo-Behçet  
 病の1例  
 古賀 正哲・森下 靖雄・湯田 敏行  
 平 明… 275(2)

Adenoma より発生したと考え  
 られる早期胆嚢癌の1自験  
 例  
 小海 康夫・戸張 雅晴・伊藤 誠司  
 須 藤 真・小館 昭示・西沢 諒一… 279(2)

ガス壊疽の1例  
 佐々木寿昭・深田 民人・野坂 収作  
 瀬 谷 斉・北岡 宇一・吉野 保之… 283(2)

左鎖骨上窩に発生した胸管嚢胞  
 の1切除例  
 谷村 繁雄・小林 和生・友 安 浩  
 伴場 次郎・正木 幹雄・松 下 央  
 松谷 章司… 397(3)

ホルモンレセプター強陽性を示  
 した男子乳癌と早期胃癌の  
 同時重複例  
 志田 晴彦・斉藤 英昭・松村 健三  
 大西 律人・増田 幸蔵・長島 郁雄  
 黒 木 尚・町田 武久・山本 登司  
 浅 野 哲… 403(3)

慢性膵炎を合併した原発性上皮  
 小体機能亢進症の1例  
 堀 明洋・蜂須賀喜多男・山口 晃弘  
 近 藤 哲・安井 章裕・広瀬 省吾  
 山田 育男・深田 伸二・宮地 正彦  
 碓氷 章彦・渡辺 英世… 407(3)

化学・塞栓療法(Chemo-embolization)後3年3ヵ月生存  
 中の切除不能肝癌の1例  
 梅下 浩司・岡 村 純・門田 守人  
 黒田 知純・桜井 幹巳… 413(3)

右鼠径部(腎外性) Wilms 腫

瘍の1例  
 岡村 隆仁・田中 立夫・浜 垣 仁  
 小西 康備・沖 野 孝・戸田 和史  
 伊藤 未喜・篠藤 満亮・山本 彰芳… 419(3)

術後に発生した非閉塞性腸管梗  
 塞の2例  
 望 月 泉・西平 哲郎・佐々木久雄  
 前山 俊秀・大熊 恒郎・佐藤 吉明  
 葛西 森夫・横山 安邦… 423(3)

誤嚥された魚骨片により惹起さ  
 れた腹壁放線菌症の1例  
 菅 淳 一・上田 祐滋・亀井 隆史  
 初井 真美・恵良 昭一・岩崎 一教… 551(4)

十二指腸乳頭部に発生した平滑  
 筋肉腫の1症例  
 沢井 高志・林 哲 明・金子 靖征  
 池 田 卓・伊東正一郎・大 高 啓  
 望月 福治… 555(4)

特異な経過をたどつたマイトマ  
 イシン血管外漏出による皮  
 膚潰瘍の1例・沢田 幸正・鈴木 常正… 559(4)

男子の原発性同時性両側乳癌の  
 1例  
 升田 鉄三・神 雅 彦・北島 修哉… 563(4)

卵黄腸管全開存(臍腸瘻)の1  
 例  
 見 市 昇・真田 英次・小林 敏幸  
 高 橋 侃・小笠原長康・成末 允勇  
 坂本 昌士… 567(4)

15歳男子の直腸に集簇発生した  
 多発性ポリープに focal car-  
 cinoma を伴つた1症例  
 大久保忠俊・橋本 大定・脇 正 志  
 宮 原 透・原田 幸雄・吉村 敬三  
 寺門 道之… 571(4)

臨床経過の比較的緩慢な悪性胸  
 膜中皮腫の1例  
 木村 敏明・大倉 充博・岡本 康久  
 松井 武志・松尾慎一郎・古林太加志  
 山根 行雄・戸谷 拓二・溝淵 光一… 685(5)

横隔膜弛緩症合併胃捻転による  
 噴門部狭窄の1手術例  
 加納 正道・桑原 悦美・西平 哲郎  
 葛西 森夫・小野寺博義… 689(5)

食道癌手術後6年後に発生した  
 再建胃癌の1例

紙田 信彦・朝田農夫雄・山口 善友  
 佐々木喜一・長堀 順二・岡 崎 護  
 黒川 博之・立之 芳源・齊藤 寛文  
 渡会 敏之・田中 公啓・郡 良文  
 関口 昭彦・原 田 伸…………… 693(5)

#### 巨大な非活動性ラ島腫の1例

後藤 剛貞・竜 崇正・佐藤 博  
 松崎 理…………… 697(5)

#### 腹部鈍の外傷による胆嚢破裂

松崎 正明・林 衆治・神谷 勲  
 堀尾 静・佐久間温己…………… 703(5)

#### イレウス症状をきたした小腸ア

##### ニサキス症3例の検討

深田 伸二・蜂須賀喜多男・山口 晃弘  
 近藤 哲・堀 明洋・安井 章裕  
 広瀬 省吾・山田 育男・宮地 正彦  
 碓氷 章彦・渡辺 英世・石橋 宏之  
 加藤 純爾・神田 裕…………… 707(5)

#### 下血をきたした多発性空腸憩室

##### 症の1例

堀 明洋・蜂須賀喜多男・山口 晃弘  
 近藤 哲・山田 育男・広瀬 省吾  
 深田 伸二・宮地 正彦・碓氷 章彦  
 渡辺 英世・石橋 宏之・神田 裕  
 加藤 純爾…………… 713(5)

#### 大網原発平滑筋肉腫の1例

井上 善文・横田 博志・弓場 健義  
 松木 修・川田 博昭・福井 博  
 越智 昭博・大下 征夫・山本 久義  
 小林春秋男・桐本 孝次…………… 717(5)

#### 乳腺悪性リンパ腫の1例

山本 宏明・鈴木 一男・熊谷 太郎  
 千木良晴ひこ・平井 孝・向山 博夫  
 森浦 滋明・生田 宏次・坂田 慶太  
 久納 孝夫・柴田 佳久・佐賀 信介  
 原 一夫・筒井 祥博・水野 晴光…………… 1029(7)

#### 孤立性気管支乳頭腫の1手術例

島田 良昭・原田 邦彦・佐尾山信夫  
 井上 権治・田中 直臣…………… 1033(7)

#### 長期の経過をとった軟部悪性腫

瘍の1例……………谷口 良雄・廣瀬 隆之…………… 1039(7)

#### 急性腹膜炎症状を呈したS状結

##### 腸癌による非穿孔性の obs-

##### tructive colitis の1例

原 一郎・平井 真実・土屋 喜哉  
 天野 純治・松林富士男…………… 1043(7)

#### 術後夜間喘息様咳嗽発作の消失

##### をみた胃食道逆流現象(GER)

##### の1例

中村 哲郎・岡田 正・根津理一郎  
 窪田 昭男・福沢 正洋・鎌田 振吉  
 高木 洋治・原田 徳藏…………… 1047(7)

#### 多発早期胃癌に合併した胆嚢壁

##### 内異所性胃粘膜の1例

清水 裕英・山本 康久・佐々木義仁  
 今井 博之・長野 秀樹・瀬尾 泰雄  
 牟礼 勉・岩本 末治・木元 正利  
 佐野 開三・日浦 研哉・中川 定明…………… 1051(7)

#### 難治性完全側頸瘻の1手術経験

梶原 達観・根木 逸郎・森岡 秀之  
 品川 裕治…………… 1163(8)

#### 甲状腺近傍に発生した、異所性

##### 気管支原性嚢胞の1例

菅野 衛・的場 直矢・松本 高  
 渡辺 至・平 幸雄・神保 雅幸  
 鎌田 義彦…………… 1167(8)

#### 外傷性胸部大動脈瘤の1治験例

白川 和豊・臼井 由行・今吉 英介  
 清水 康廣・内田 発三・寺本 滋…………… 1171(8)

#### 炎症型悪性線維性組織球腫の1

##### 例

田村 利和・三宅 秀則・木村 文夫  
 宇高 英憲・宮本 英之・古味 信彦  
 建沼 康男・螺良 英郎・広瀬 隆則  
 布村 進作・檜澤 一夫…………… 1175(8)

#### 成人の後腹膜未熟奇形腫の1治

##### 験例

一過去21年間の本邦におけ  
 る成人後腹膜奇形腫33例の  
 統計的検討一

小野寺健一・笹生 俊一・久富木原真  
 小野 隆男…………… 1181(8)

#### 化膿性腹膜炎に伴って発生し

##### た急性無石壊疽性胆嚢炎の

##### 2例

森田 隆幸・宮城島 堅・伊坂 直紀  
 吉原 秀一・三上 勝也・佐々木睦男  
 今 充・村田 光畿・成田 博美…………… 1187(8)

#### 腹部大動脈狭窄症と併存した腸

##### 間膜平滑筋腫の1例

細川 治・白崎 信二・吉村 信  
 牧 洋・小西二三男…………… 1197(8)

大腸内視鏡により診断し得た結

腸膀胱瘻の1治験例

鍋嶋 誠也・藤崎 安明・沖本 光典  
土屋 信・伊東 治武・村上 和・1201(8)

下肢 venous gangrene の1症

例

生 駒 明・森下 靖雄・豊 平 均  
中村 雅晴・平 明・永井雄一郎  
田代 正昭……………1205(8)

胃癌虫垂転移による急性虫垂炎

の1例

大 島 昌・川合 重夫・富永 秀次  
長島 道夫・平山 廉三・広川 勝彦……………1305(9)

山形県で見出された肺炎糸状虫

症の1例について

斎 藤 奨・山下 隆夫・渡 辺 正  
仙道富士郎・布山 繁美・折田 博之  
鷺尾 正彦・吉村 裕之・赤尾 信明……………1309(9)

胆嚢癌と併存した胆嚢カルチノ

イドの1例

固武健二郎・米山 桂八・宮田 潤一  
石川 広記・林 亨……………1313(9)

完全縦隔内甲状腺腫の1例

平岩 卓根・長坂 裕二・庄村 赤裸  
増田 浩一……………1319(9)

甲状腺原発悪性リンパ腫の2例

前之原茂穂・浜田 長輝・西 満 正  
吉永 淳教・大久保智佐嘉・吉中 平次  
富加見 章・門松 民夫・金子 洋一  
小代 正隆・愛 甲 孝・八木 俊一  
徳永 正義・佐藤 栄一……………1323(9)

*Sporothrix schenckii* 感染によ

る熱傷部難治性潰瘍の1例

川端 啓介・山川 達郎・三 芳 端  
伊藤 誠二・広沢 邦浩・沖浜 裕司  
飯泉 成司・宇井 義典・杉 洋 一  
加藤 一富・小野真理子・橋 本 謙  
須田 光也……………1327(9)

甲状腺結節分離症 (Sequestered

nodular goiter) の1例

堀 明 洋・山口 晃弘・蜂須賀喜多男  
近 藤 哲・広瀬 省吾・深田 伸二  
宮地 正彦・碓氷 章彦・渡辺 英世  
石橋 宏之・加藤 純爾・神 田 裕……………1331(9)

肝切除および肝動脈塞栓術を行

った直腸平滑筋肉腫肝転移

の1例—自験、転移性肝肉

腫16例の検討—

新井 稔明・鈴 木 茂・山下由起子  
斉藤 早苗・喜多村陽一・長谷川利弘  
磯部 義憲・高 崎 健・鈴木 博孝  
小林誠一郎・別宮 啓之……………1337(9)

局所動注化学療法の奏効した乳

腺原発癌肉腫の胸骨旁リン

パ節再発の1症例

木村 道夫・阿部 力哉・石 井 洋  
中 村 隆・秋 元 実・上沖 修三  
沢 野 彰……………1343(9)

Ball thrombus の症例

梅林 雄介・山下 正文・森下 靖雄  
丸古 臣苗・平 明・南 幸 弘  
中村 一彦……………1455(10)

先天性多発性食道狭窄症の1手

術治験例

正木 康史・石上 浩一・三井 俊明  
川 村 明・丹 黒 章・梶原 達観  
長谷川博康……………1459(10)

胃と脾臓にみられた Hodgkin

病の1例

中野 芳明・塩 崎 均・松浦 成昭  
宮本 徳広・城戸 良弘・藤山 武雄  
川崎 勝弘・藤本 二郎・小川 道雄  
小川 嘉誉・森 武 貞・毛野 義明  
南 雄 三・姫野 誠一・青笹 克之……………1463(10)

十二指腸球部に脱出・嵌頓した

Borrmann 1型胃癌の1例

的場 直行・慶田 裕一・売豆紀雅昭  
佐藤 和洋・増田 弘志・井 上 強  
末永 和之・渡辺 恵幸・為近 義夫……………1467(10)

残胃に癌と平滑筋肉腫が併存し

た1例

鴻江 俊治・田中 靖邦・藤 本 要  
坂本 清人・小 川 清・桑野 博行……………1471(10)

経皮的膿瘍ドレナージが有効で

あつたアメーバ性肝膿瘍の

1治験例

近藤 秀則・武田 淳志・飯島 崇史  
三輪 恕昭・頓宮 廉正……………1477(10)

十二指腸平滑筋肉腫の1手術例

船木 治雄・大田 早苗・広瀬 脩二  
石田 秀世・竿代 丈夫……………1483(10)

胆石イレウスの1例

|                                           |                                                                                                                               |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一本邦報告 170 例の検討—                           |                                                                                                                               |
| Gastroesophageal asthma を伴った食道裂孔ヘルニアの 1 例 | 渡辺 幸康・板東 隆文・豊 島 宏…1489(10)                                                                                                    |
| 同一患者において 2 回摘除術を行った細小肝癌の 1 例              | 田中 千凱・伊藤 隆夫・操 厚<br>国井 康彦・西 脇 勤…1611(11)                                                                                       |
| 仮性膵嚢胞内出血の 1 治験例                           | 佐藤 康満・山崎 泰男・下間 信彦<br>永松 正明・鈴木 裕之・栗谷 義樹<br>高野 一彦・小松 寛治・盛合 範彦<br>中目 千之・佐藤 和一・佐々木雅佳<br>丹野 尚昭・山崎日出雄・花 田 稔<br>川村 義宏・渡辺 公伸…1615(11) |
| 十二指腸の完全閉塞をきたした胆嚢性十二指腸周囲炎の 1 例             | 佐藤 和広・今野 哲朗・佐野 文男<br>佐野 秀一・五十嵐 究・大村 孝志<br>長渕 英介・中西 昌美・葛西 洋一<br>藤沢 純爾・宮森祥八郎・種田 光明…1621(11)                                     |
| 原発性大網捻転症の 1 例                             | 大谷 吉秀・三田 盛一・牛島 康栄<br>宮 北 誠・島津 元秀・朝 戸 裕<br>三方 淳男・黄 總 乾・上野 恭一…1631(11)                                                          |
| 原発性小腸間膜平滑筋肉腫の 1 例                         | 森元 秀起・西 庄 勇・東山 聖彦<br>古川 順康・中 村 勉・門田 尚武<br>安田 青児・岡 崎 茂…1635(11)                                                                |
| 異時性に両側発症した閉鎖孔ヘルニアの 1 例および本邦報告例の統計的検討      | 宮田 潤一・米山 桂八・固武健二郎<br>原 彰 男・林 亭・吉井 昭夫<br>古明 地智…1641(11)                                                                        |
| 迷切兼分節胃体部切除後にみられた残胃初発癌の 1 例                | 岩下 俊光・榊原 幸雄…1765(12)                                                                                                          |
| 胆嚢捻転症の 1 治験例                              | 田中 章一・丹 山 桂・安武 俊輔                                                                                                             |

|                                    |                                                          |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 先天性総胆管嚢胞壁にみられた異所性膵組織の 1 例          | 藤井 康宏…1771(12)                                           |
| 好酸性リンパ濾胞様肉芽腫の 2 症例                 | 太田 哲生・小西 孝司・竹下八州男<br>小西 一朗・秋山 高義・永川 宅和<br>宮崎 逸夫…1775(12) |
| 後腹膜に発生した巨大な悪性線維性組織球腫の 1 例          | 齊 藤 功・佐々木 純・渡辺 正敏<br>旭 博 史・小 川 漿・森 昌 造…1779(12)          |
| 腸チフス菌が胆汁中に検出された胆嚢癌の 1 例            | 鈴木 裕之・下間 信彦・山崎 泰男<br>佐藤 康満・栗田 義樹・高野 一彦…1783(12)          |
| 胆嚢結石を合併した Dubin-Johnson 症候群の 1 手術例 | 鈴木紳一郎・吉 田 明・熊本 吉一<br>天野 富薫 松本 昭彦・桔梗 辰三<br>五島 英迪…1787(12) |
|                                    | 塚本 拓司・米山 桂八・固武健二郎<br>宮田 潤一・芳賀 佳之・林 亭<br>大野 泰司…1791(12)   |

## 〔カラーグラフ〕

|                |                                                         |
|----------------|---------------------------------------------------------|
| ＜臨床外科病理シリーズ＞   |                                                         |
| 胃悪性神経線維腫       | 廣田 映五・大坊 昌史・板橋 正幸<br>中 島 孝・小黒八七郎・北岡 久三… 14(1)           |
| 肝細胞癌—TAE+肝切除—  | 広橋 説雄・岸 紀代三・幕内 雅敏<br>山 崎 晋・長谷川 博・高安 腎一<br>森山 紀之… 158(2) |
| びまん型肝細胞癌の進展    | 広橋 説雄・下里 幸雄・吉田 孝宣<br>吉野 正曠・岡崎 伸生・森山 紀之… 302(3)          |
| 小型肝細胞癌         | 広橋 説雄・岸 紀代三・幕内 雅敏<br>山 崎 晋・長谷川 博・高安 腎一<br>森山 紀之… 442(4) |
| 膵頭部癌           | 岸 紀代三・尾崎 秀雄・中村 耕三<br>吉森 正喜・田尻 久雄… 590(5)                |
| ＜術中トラブル対処法＞    |                                                         |
| 術中トラブル回避のための胆道 |                                                         |

手術における肝外・肝内胆  
管の鑑別……松本 由朗・菅原 克彦… 736(6)  
＜臨床外科病理シリーズ＞

#### 化生型胆嚢癌

松峯 敬夫・青木 幹雄・瀬戸 輝一… 936(7)

#### 化生型胆管癌

松峯 敬夫・青木 幹雄・瀬戸 輝一…1070(8)

#### 胆道系チフス菌保菌者と胆嚢癌

松峯 敬夫・福 留 厚・今川 八束

村田三紗子・青木 幹雄・瀬戸 輝一…1224(9)

#### 先天性胆管拡張症と胆嚢癌

松峯 敬夫・青木 幹雄・笹子三津留

瀬戸 輝一…1370(10)

#### 比較的早期の Vater 乳頭部癌

板橋 正幸・加藤 昌子・森永正二郎

廣田 映五・尾崎 秀雄・森谷 宜皓…1504(11)

#### 小腸平滑筋肉腫

廣田 映五・大坊 昌史・板橋 正幸

北岡 久三・小黑八七郎・山田 達哉…1660(12)

### 〔対 談〕

#### 術中トラブル対処法は卒後トレ

ーニングにあり

真栄城優夫・牧野 永城… 907(6)

### 〔座 談 会〕

#### Septic Shock の治療とその考

え方

G. T. Shires・B. A. Pruitt・

相川 直樹・吉岡 敏治・石田 詔治

(司会) 島崎 修次… 650(5)

#### J. E. Fischer 教授を囲んで

#### 輸液・栄養をめぐる今日の話題

Josef. E. Fischer・岡 田 正

碓井 貞仁・(司会) 小越 章平…1000(7)

#### 上部胆管癌の治療をどうするか

跡 見 裕・柿 田 章・斎藤 洋一

高田 忠敬・(司会) 小山 研二…1422(10)

#### 炎症性腸疾患の治療方針

一内科から外科へ外科から

内科へ

酒井 義治・小山 真

(司会) 土屋 周二…1725(12)

### 〔世界の手術室〕

#### 北京市友誼病院(中国)(その

(12)

臨外・第39巻・総目次 1984年(第1～12号)

1) ……隅田 幸男… 71(1)

フィリピン・マニラ Medical

Center Manila の手術室

(その2) ……隅田 幸男… 231(2)

‘温故知新’が生きるパリの病院

(その3) ……隅田 幸男… 529(4)

オランダ・アムステルダム, ア

ムステルダム大学 Wilhelmina

Casthuis(最初の高圧酸素

室とそこで学んだ日本人医

師)(その4) ……隅田 幸男… 642(5)

術者, 助手, 器具, そして明り

(その5) ……隅田 幸男… 839(6)

### 〔外科医のためのマイコンガイド〕

術前・術後の輸液輸血メニュー

メニュー5・総合輸液計画

(連載5) ……進藤 勝久… 77(1)

“外科医のための統計学”(37

巻1号～8号掲載)にアタ

ックする 1. 分布状態,

$\chi^2$  検定, 相関関係間接法

(連載6) ……進藤 勝久… 239(2)

“外科医のための統計学”(37

巻1号～8号掲載)にアタ

ックする 2. 相関関係直

接法, 平均値の差の検定

3. 生存率の計算と有意差

の検定(ノンパラメトリッ

ク検定法)(連載7) ……進藤 勝久… 355(3)

外科データを数式とグラフで表

わす回帰分析処理プログラ

ムの作り方(連載8)

松田 和彦・宮内 啓輔・進藤 勝久… 535(4)

データベース・マネージメント

(DBM) 1. 外科のデータ

を保存する(連載9) ……進藤 勝久… 659(5)

データベース・マネージメント

(DBM) 2. 外科のデータ

を検索する(最終回) ……進藤 勝久…1009(7)

### 〔Topics〕

肝細胞癌に対する泡による em-

bolization, その後の発展

一肋間動脈経由キセノン泡

溶液の動注と温熱療法の併

用治療の開発—

長谷川 博・山崎 晋・幕内 雅敏  
森山 紀之・島村 善行……………1147(8)

〔Report from Overseas〕

経胸腔・腹腔腔切開排膿術によ

る細菌性肝膿瘍の治療経験

李 成日・姜 惟龍・許 光根  
李 乃新・崔 東煥……………1576(11)

〔画像診断・What sign?〕

Stepladder appearance……………佐藤 豊… 92(1)  
“Coffee-bean” sign……………佐藤 豊… 237(2)  
“beak” sign……………佐藤 豊… 353(3)  
“Pseudokidney” sign……………佐藤 豊… 533(4)  
網嚢内液体貯留 fluid collection  
in the lesser sac (1)……………佐藤 豊… 649(5)  
網嚢内液体貯留 fluid collection  
in the lesser sac (2)……………佐藤 豊… 999(7)  
Fluid filled intestinal loop……………佐藤 豊…1137(8)  
The “sandwich” sign……………佐藤 豊…1279(9)  
Renal halo……………佐藤 豊…1421(10)  
Gallstone ileus……………佐藤 豊…1579(11)  
胆嚢壁内ガス……………佐藤 豊…1743(12)

〔外科医の工夫〕

消化器外科領域における術後疼

痛に対する硬膜外モルヒネ

注入法の経験

山本 俊二・壺井 和彦・中島 芳郎… 251(2)

胸部食道癌術中照射療法—手術

術式を中心として—

緒方 卓郎・田村 精平・川村 明廣  
曳田 知紀・前田 知穂・小川 恭弘  
猪俣 泰典・平川 方久・武田 明雄  
橘 壽人…………… 369(3)

開腹術後創哆開症例の検討およ

び再縫合法の1工夫

天野 実・前田 潤平・宮城 直泰  
中田 剛弘・宮田 昭海・森 英明  
林田 政義・佐伯 辻六…………… 669(5)

心血管内カテーテル片の非観血

的除去

有川 和宏・東 哲秋・下川 新二  
森下 靖雄……………1301(9)

中心静脈カテーテルの体内断裂

—挿入時の外套針によるカ

テーテル損傷について

関根 智之・大久保 正・桜田 徹  
熱海 裕之・星野 良平・阿部 忠昭…1795(12)

外頸静脈穿刺による IVH カテ

ーテル挿入法

宮崎 要・森下 薫・金丸 洋  
上辻 祥隆・倉光 秀磨・織畑 秀夫…1797(12)

〔境界領域〕

骨盤内臓器全摘術における CT

スキャンの有用性

林 正・井上 省蔵・川部 克己… 365(3)

高頻度ジェット換気法 (HFJV)

による気管再建術の麻酔管理

上村 浩一・長谷川正宜・久場 良也  
松原 康博・上平 敦・田中 彰  
山内 教宏・小田 貢・佐藤 暢…1349(9)

前頭洞・篩骨洞・脳内異物の8

例

吉村 陽子・中島 龍夫・上 敏明  
加藤 一・中西 雄二・米田 敬  
佐野 公俊……………1605(11)

〔Review〕

直腸癌の診断および手術手技か

らみた問題点…土部美代志・龍村 俊樹…1749(12)

〔この人と15分〕

ブリュッセル 自由大学教授・

Dr. M. Cremer……………山川 達郎… 350(3)

“脳死”をめぐる(竹内一夫

先生)……………出月 康夫… 525(4)

〔ここが知りたい・臨床医のためのワンポイントレッスン〕

肛門周囲膿瘍の外来診療のポイ

ントは……………葛西 猛… 645(5)

血栓性外痔核および嵌頓内痔核

の外来診療のポイントは…葛西 猛… 996(7)

外来で診る膿瘍治療のコツ……………益子 邦洋…1135(8)

腹腔穿刺のコツは……………福島 恒男…1275(9)

〔腹部エコー像の Pitfall〕

装置に由来する Pitfall……………松田 正樹…1139(8)

走査・検査法と読影上の Pitfall…松田 正樹…1281(9)

肝内腫瘍と鑑別すべき疾患

- 松田 正樹・井上健一郎·····1439(10)  
 腹腔内リンパ節腫脹のエコー上  
 の鑑別点·····松田 正樹・井上健一郎··1581(11)  
 膝腫瘍?·····松田 正樹・井上健一郎··1745(12)

〔原典を繙く〕

- Dieulafoy 潰瘍 (その1) ·····島津 久明··1735(12)

〔書 評〕

- 館野之男編「ボジトロン CT」···鳥塚 莞爾·· 30(1)  
 葛西森夫監修「消化管内圧測定  
 法」·····角田 昭夫·· 166(2)  
 飯尾正宏・Henry N. Wagner編  
 「Geriatric Nuclear Medicine」  
 鳥塚 莞爾····· 235(2)  
 甲田英一・古寺研一・平松京一  
 著「画像診断のための知つ  
 ておきたいサイン」·····片 山 仁·· 238(2)  
 H. Feneis 著・山田英智 監訳  
 「図解解剖学事典(第2版)」  
 に寄せて·····吉川 文雄·· 311(3)  
 H. Herlinger, A. Lunderquist  
 & S. Wallace 編集「Clin-  
 ical Radiology of the Liver  
 (2 vols.)」···· 高安 賢一・山田 達哉·· 336(3)  
 奥秋 晟・五十嵐正男・石原  
 昭 編集「集中治療マニユ  
 アル」·····藤 森 貢·· 389(3)  
 Lucien Leger 著・森岡恭彦・  
 島津久明・加賀美 尚・仙  
 波大右訳「レジェ腫臓の外  
 科」·····武藤 輝一·· 483(4)  
 葛西森夫監修・池田恵一・勝俣  
 慶三・岡本英三・鈴木宏志  
 編集「消化管内圧測定法」··白鳥 常男·· 515(4)  
 阿部令彦・瀬在幸安・牧 豊編  
 「図説外科学全書」·····島田 信勝·· 625(5)  
 新妻伸二著「腹部疾患の超音波・

- CT 診断」·····加藤 敏郎··1042(7)

- D. H. Dillard & D. W. Mi-  
 ller, Jr「Atlas of Cardiac  
 Surgery」·····坂 本 徹··1111(8)  
 Ed. by M. A. Engle & J. K.  
 Perloff「Congenital Heart  
 Disease after Surgery ; Be-  
 nefits, Residua, Sequelae」··山田 崇之··1180(8)  
 井手博子・遠藤光夫著「食道腫  
 瘍の臨床病理」·····鍋谷 欣一··1233(9)  
 河西信勝・坂本穆彦著「甲状腺  
 疾患の診断手順と治療方  
 針」·····藤本 吉秀··1414(10)  
 Christopher Pallis 著／植村研  
 一・中谷比呂樹・西川正郎  
 訳／厚生省医務局医事課監  
 修「人間の死と脳幹死」··竹内 一夫··1438(10)  
 Calne, R. Y. (editor)「Liver  
 Transplantation ; The  
 Cambridge-King's College  
 Hospital Experience」····水戸 迪郎··1458(10)  
 於保健吉・雨宮隆太著「Practical  
 Fiberoptic Bronchoscopy」  
 (改訂第2版)·····吉良 枝郎··1588(11)  
 石川 徹編集「救急疾患の画像診断」  
 小濱 啓次·····1604(11)  
 打田日出夫編著「肝・胆・膵一  
 確定診断への画像的接近と  
 診断手技の治療的応用」··平松 京一··1610(11)  
 井手博子・遠藤光夫著「食道腫  
 瘍の臨床病理」·····掛川 暉夫··1629(11)  
 打田日出夫編著「肝・胆・膵一  
 確定診断への画像的接近と  
 診断手技の治療的応用」  
 戸部 隆吉・内藤 厚司·····1769(12)  
 伊藤樹史著「マイクロコンピュ  
 ータプログラムによる医学  
 統計的方法」·····岡村 茂義··1794(12)